

平成 3 0 年度

芦別市財政健全化審査意見書

芦別市経営健全化審査意見書

芦 別 市 監 査 委 員

平成30年度芦別市財政・経営健全化審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

市長から提出された、健全化判断比率、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類（以下「審査対象書類」という。）を審査の対象とした。

2 審査の期間

令和元年8月2日から同年8月29日まで

3 審査の方法

審査対象書類に記載されている計数が正確に表示されているか、また、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第2 審査の結果

1 財政健全化審査の総括

審査対象書類は、関係法令等に準拠して調製され、表示されている計数は正確であり、適正に作成されているものと認められた。

また、次のとおり全ての比率において早期健全化基準を下回っており、更なる行財政改革を推進していることから、今後の財政運営に期待する。

（単位：％）

健全化判断比率名	平成30年度	早期健全化基準	平成29年度	早期健全化基準
実質赤字比率	— (△1.40)	14.43	— (△0.50)	14.39
連結実質赤字比率	— (△7.52)	19.43	— (△5.35)	19.39
実質公債費比率	6.9	25.0	7.6	25.0
将来負担比率	92.3	350.0	90.9	350.0

※ 「—」は、実質赤字額又は連結実質赤字額がないことを示している。

なお、（ ）内は算定結果を数値で表示した場合の比率である。

2 経営健全化審査の総括

審査対象書類は、関係法令等に準拠して調製され、表示されている計数は正確であり、適正に作成されているものと認められた。

また、次のとおり財政健全化法による計数上は水道事業会計、下水道事業特別会計において資金不足が生じていないが、市立芦別病院事業会計においては資金不足が生じていることから、経営状況が悪化した要因を分析し、今後更なる経営健全化に努め、適切な事業運営を期待する。

(単位：%)

会 計 名	平成30年度 資金不足比率	経営健全化基準	平成29年度 資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	— (△148.2)	20.0	— (△152.7)	20.0
市立芦別病院 事業会計	10.5		14.1	
下水道事業 特別会計	— (0.0)		— (0.0)	

※ 「—」は、資金不足がないことを示している。

なお、()内は算定結果を数値で表示した場合の比率である。